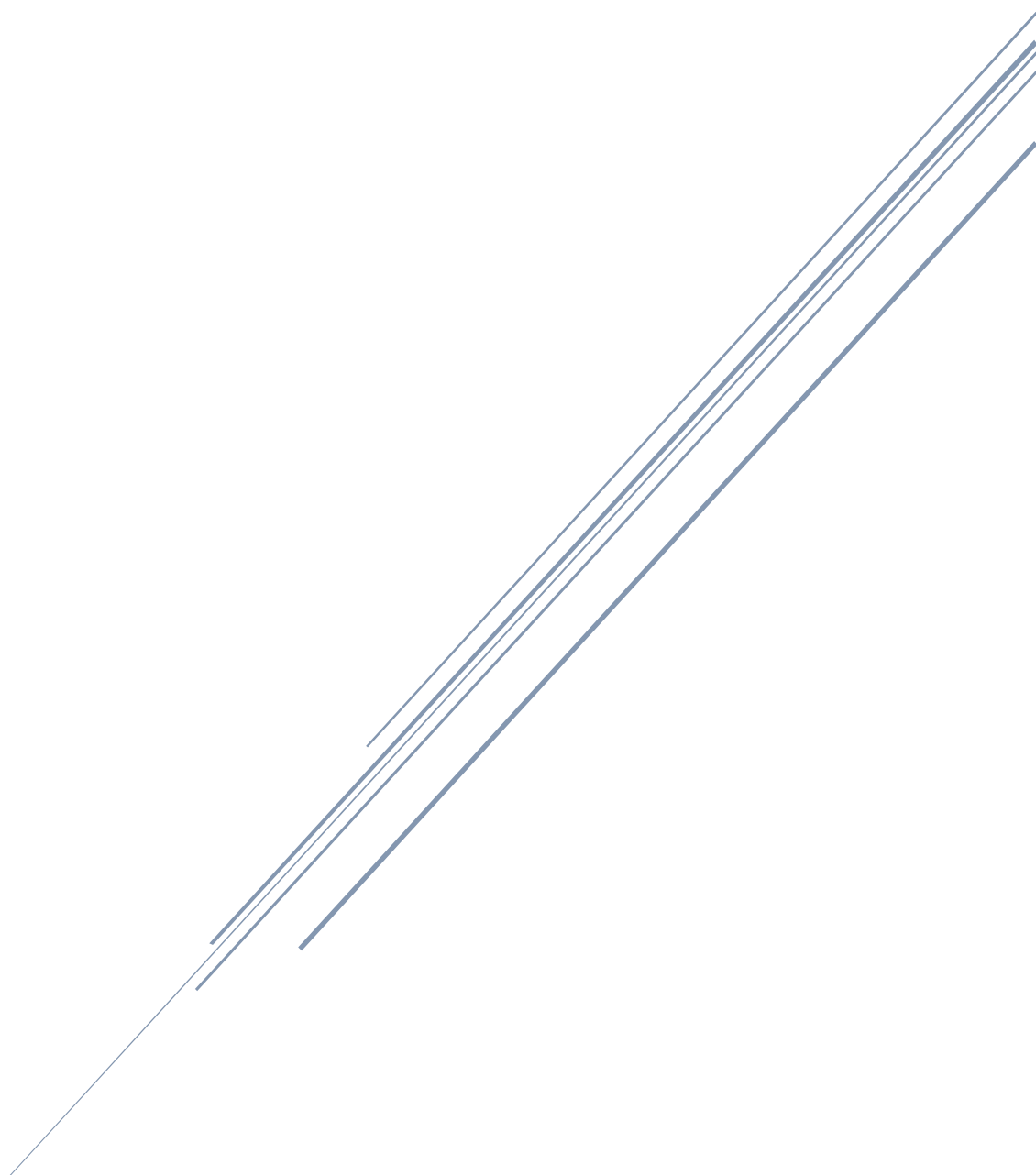


令和4年度（2022年度）

ニセコ町コミュニティ・スクール事業報告書



令和5年3月

ニセコ町コミュニティ・スクール委員会

令和4年度
ニセコ町コミュニティ・スクール事業報告書

も く じ

1	事業の概要	p 2
	(1) 事業の目的		
	(2) 令和4年度の組織体制		
2	事業の内容	p 3
	(1) 各学校・幼児センター学校運営にかかわる基本方針の承認		
	(2) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 全体会		
	(3) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 役員会		
	(4) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 部会活動・学校単位での活動		
	① 2部会：企画部会・広報部会		
	② 学校ごと：高校担当者会議		
	③ 学校支援ボランティア		
	(5) 広報活動		
3	令和4年度の成果と課題	p 6
	(1) 全体会での振り返りから		
	(2) 考察とまとめ		

1 事業の概要

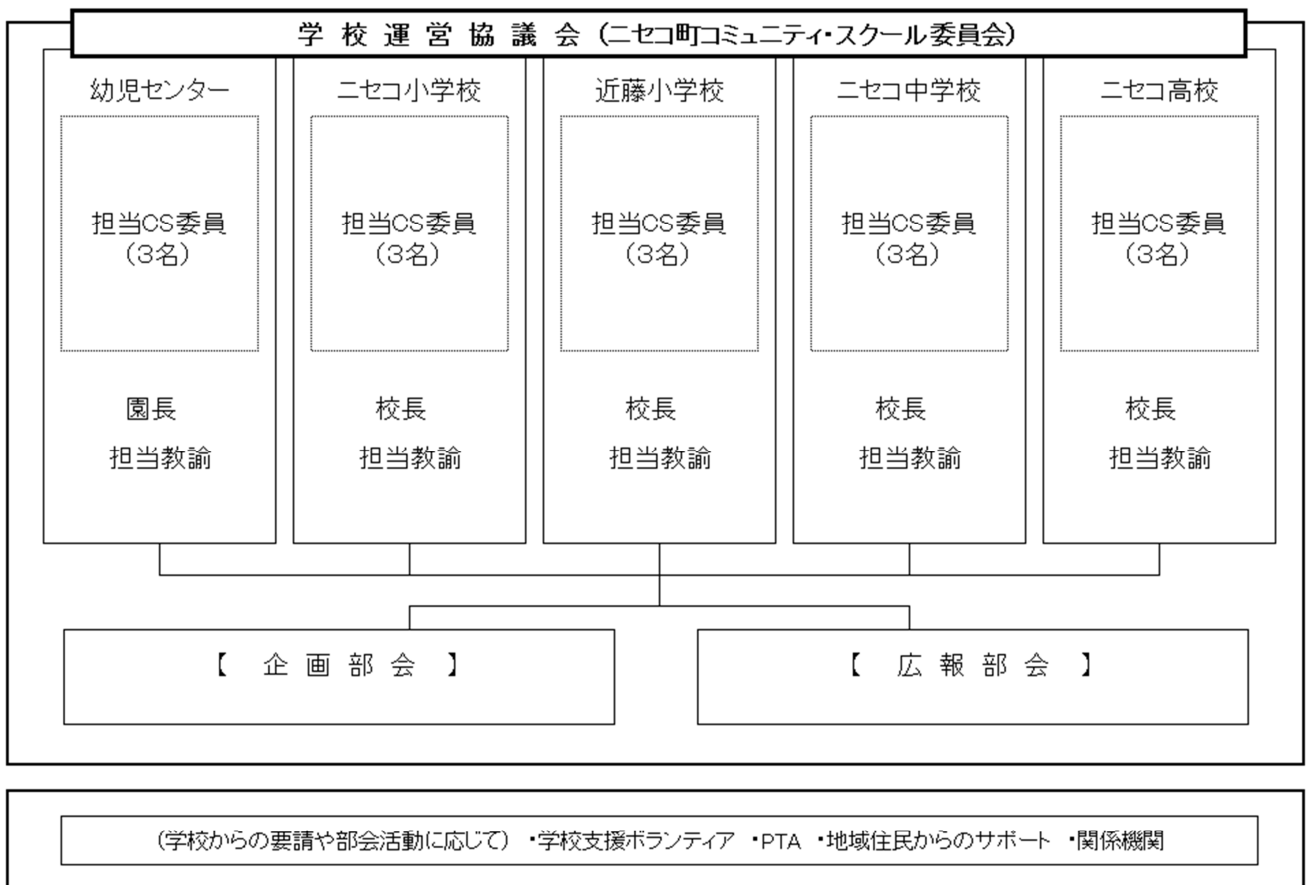
(1) 事業の目的

ニセコ町教育委員会では、全ての町立学校（幼児センター・小中高等学校）に学校運営協議会を設置し、子どもたちの課題共有や解決に向けた取組、学校支援活動などをさらに進め、地域資源や人材を積極的に活用したニセコらしいコミュニティ・スクールの取組を進めることを目的とする。また、子どもを育てていく意識の醸成を図るため、部会を設置し、ニセコ町コミュニティ・スクール委員会（学校運営協議会）が主体となって活動を行う。

(2) 令和4年度の組織体制

◎目指す子ども像 「ニセコに誇りを持ち、たくましく生きる人」

◎重点項目 「地域で学ぶ」



2 事業の内容

(1) 各学校・幼児センター学校運営にかかわる基本方針の承認（令和3年度CS委員）

5月17日（火） 18:30～20:00 町民センター

(2) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会役員会

〈臨時役員会〉 5月17日（火） 20:00～20:30 町民センター

〈第1回〉 12月21日（水） 18:00～20:00 ニセコ町役場

(3) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会全体会

〈第1回〉 7月13日（水） 18:30～20:00 ニセコ町役場

・全体会

議事① 令和4年度組織体制及び委員長、副委員長の選出について

議事② 令和4年度の部会について

説明① ニセコ町のコミュニティ・スクールとは

説明② 令和4年度年間計画

・意見交流 自己紹介、CSへの思い ～期待すること・実現したいこと

〈第2回〉 10月28日（金） 18:30～20:00 ニセコ町役場

・全体会

報告 令和4年度CS委員会活動経過

説明 令和4年度学校関係者評価（共通項目）について

・意見交流 CSのさらなる推進のために ～今できること

〈第3回〉 3月22日（水） 18:30～20:00 ニセコ町民センター

・全体会

報告 令和4年度CS委員会活動報告

説明・協議 令和5年度の活動計画について

・意見交流 学校関係者評価及び今年度活動振り返り



(4) ニセコ町コミュニティ・スクール委員会 部会活動

①部会活動

【企画部会】

〈第1回〉 7月26日(火) 18:30~20:00 町民センター

〈アンヌプリ登山〉 9月 3日(土) 8:30~登山開始

※地域おこし協力隊、NPO法人ニセコ未来サポート隊と共催

〈給食試食会〉 11月30日(水) 11:30~12:30 町民センター

【広報部会】

〈第1回〉 7月28日(木) 18:30~20:00 ニセコ町役場

〈第2回〉 11月29日(火) 18:00~20:00 ニセコ町役場

〈ラジオニセコ〉 毎月第2火曜日 16:30~

○アンヌプリ登山



○ラジオニセコ



○給食試食会



②学校ごとの活動

【ニセコ高校卒業生インタビュー動画の作成(令和3年度からの継続)】

3月17日(木) 14:30~16:30 卒業生3名、インタビュアーの高校生2名

5月26日(木) 16:00~17:00 卒業生1名、インタビュアーの高校生2名

6月 7日(木) 16:00~17:00 卒業生1名、インタビュアーの高校生3名

③学校支援ボランティアの活動・講師の紹介等 (10事業のべ41名が参加)

7月21日	総合的な学習の時間	SDGs講話	【ニセコ中学校】	1名
7月22日	総合的な学習の時間	SDGs体験学習	【ニセコ中学校】	1名
8月30日	プール授業補助		【ニセコ小学校】	1名
9月16日	イワオヌプリ登山		【幼児センター】	2名
10月13日	高校生面接サポート		【ニセコ高校】	2名
11月～12月	総合的な学習の時間の時間		【ニセコ中学校】	4名
11月24日	SDGs特別授業		【ニセコ高校】	1名
1月20日	スキー授業補助		【近藤小学校】	1名
1月27日	スキー授業補助		【近藤小学校】	1名
5月24日から毎週火曜日	アフタースクールイングリッシュクラス			【ニセコ高校】

※各回ボランティア1名ずつローテーション

○高校生面接サポート



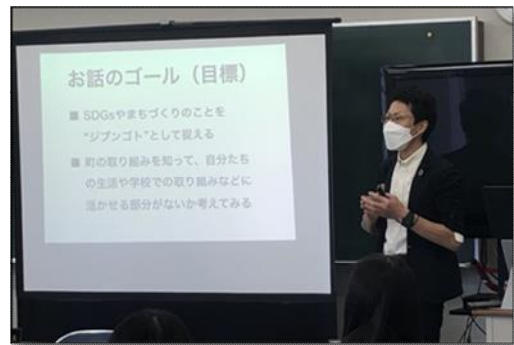
○アフタースクールイングリッシュクラス



○総合的な学習の時間



○SDGs 特別授業



(5) 広報活動

①ホームページの更新

- ・ニセコ町教育委員会ホームページ内、「コミュニティ・スクールの取組」を随時更新

②ラジオニセコ（広報部会と連携）

- ・「ニセココミュニティ・スクールタイム」出演（月1回）

放送日 毎月第2火曜日 16:30～16:50

③広報ニセコ

- ・暮らしの情報内「CSチャンネル」掲載（年間4回）

3 令和4年度 成果と課題

(1) 全体会での振り返りから

①幼児センター・各学校から

【幼児センター】

- ・学校関係者評価については事前に協議する場があり、じっくり意見を出し合うことができた。
- ・PTAでおたすけまんの会を実施している。その延長線上でCSの活動があっても良い。
- ・委員さんが運営している文化サークルの体験を子どもたちにもふれさせることで、様々な文化を体験することができるチャンスになる。

【ニセコ小】

- ・学校に来てもらえる、見てもらえるという点について。参観日に来てもらい子どもたちの実情を見てもらうというのは大事なこと。その話を地域の人たちに発信していくというのも大事。地域のことを調べて発表する機会に、地域の皆さんに来てもらう、など。
- ・学校の教育に参画する、携わるという点について。縦割りアンヌプリ登山などまずは話し合いのテーブルにのせ、どのような方法であれば実施可能かなどまずは方向性を話し合いたい。人が変わっても、継続して話し合える場があるとよい。

【近藤小】

- ・前年度の意見と今年度の取り組みについて連続性がなかった。この部分を年度はじめに意識して取り組むことが必要。(例：あそぶっくの蔵書検索など)
- ・各学校から出された評価を町としてどう評価していくか、ということも大事なのでは。
- ・評価については他校の資料も読み込みたいと思うので事前配布をお願いしたい。

【ニセコ中】

- ・感染症対策が変わってきている。関係が希薄になってしまった保護者、PTA、CSとのつながりを築いていきたい。
- ・ふるさと学習を進めている。町のホームページにあるガイドマップを回ったことのある生徒はどのくらいいるのかなど、取り組めることはたくさんある。いろいろなところに出向いて、地域と連携しながら良い学習につなげたい。
- ・同窓会について課題があるので、今後相談したい。

【ニセコ高】

- ・国際交流の事業は多く実施しているが単発で終わってしまっている。継続していけたら次の後輩たちのためにもなると考える。
- ・いじめアンケートについて気になる事案はあったが、いじめにつながらないものであった。公表できる範囲で伝えていけたらと思う。
- ・グローバル人材育成講話などで様々な人の講話を実施しているが、仕事についての失敗談や自己管理など若手社員さんの講話等も実施していきたい。

②その他（質問・意見）

【学校関係者評価について】

- ・評価の指針はどうなっているのか（各学校で記載にばらつきがあることが気になる）
- ・学校間の連続性、理解について昨年の質問の答えがでなくて残念。
- ・ニセコ町として、まとめとしての評価はだれがどのようにするのか。教育行政執行方針とのかかわり、各学校でどう生かされているのか、評価の提出単発で終わっても良いのか等、検討してほしい。

【スキー授業について】

- ・学校の授業でスノーボードはできないのか。
- ・スキー道具の準備が高額で大変。スキーをやらない家庭は増えており負担になっている家庭は多いのでは。町内の学校で潜在的にあるものではないかと考えるので意見集約などできないのだろうか。もし困っている家庭が多いのであれば、町として何らかの手立て、議論の場が必要なのではないかと。

（2）考察とまとめ

- ・今年度は、ここ数年実施を控えていたアンヌプリ登山や給食試食会を開催することができた。また、CSの活動報告を行っているラジオニセコの番組に児童が出演することにより、児童や保護者へCSの活動を伝える取組も実施した。委員からは、実施に向けての工夫やアイデア等が積極的に提案され各事業を展開することができたことは大きな成果と考える。
- ・各学校から様々な事業で学校支援ボランティアの活用が図られた。学校の要請に応じて今後も必要な人材を紹介できるよう努めたい。
- ・これまでの議論から、「学校単位での交流・話し合いの強化」の必要性が高まり、次年度からは学校単位で集まる機会を設定することとした。学校運営方針の承認について3月中に実施してほしいとの意見もあるが、学校関係者評価の実施時期との調整が必要であるため、意見を聞きながら次年度中に方向性を決定したいと考える。また、毎年度人の入れ替わりがあることや、CSの目的がブレていかないようにするために、定期的に研修の機会が必要との声もあった。全体会等でCSについて理解を深める研修の機会を設定していきたい。
- ・3年間の感染症対策で、学校と地域・保護者と距離ができてしまった、多くの活動が制限されてしまった、という声が全体会での意見交流のたびに聞かれた。今後、対策が緩和されることによりこれらの点が改善されることを期待する声も多い。次年度の活動では、話し合いの場はもちろん、地域の人が学校を訪れる機会を増やすなど、3年分の関係の再構築を丁寧に行っていききたい。
- ・その他、評価やスキー授業について出された意見は、次年度に向け内容を整理していく必要がある。